

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 「地域に開かれた学校」を発展させ、保護者や地域の方が学校づくりに主体的に参画し、「地域とともに生徒を育てる学校」の実現を目指します。
- ② より実効性のある学校関係者評価を実現し、教育活動を改善します。
- ③ 保護者や地域の方が、学校の教育活動に積極的に関わることを通して、相互理解を深めたコミュニティスクールを推進します。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### (1) 教育活動の実践事例

#### 《浜田地区青少年を守る会との共催事業》

6月25日、浜田地区青少年を守る会にお世話いただいて、熊本県の慈恵病院で「赤ちゃんポスト」の運営に関わってこられた元看護師長の田尻由貴子さんをお招きして、いのちを考える講演会を開催しました。講演は『『いのち』～赤ちゃんポストが投げかけたもの～』という演題で、田尻さんが看護師・助産師・保健師として人の一生に関わる仕事を通して「いのちの大切さ」を学んだことや、赤ちゃんポストの運営やSOS電話相談窓口から見てきたこと、命の誕生の尊さについてお話しいただきました。当日は全校生徒に加え、地域・保護者の皆様にも参加いただき「命を大切にする」ことや「自分を大切にする」ことについて、生徒と一緒に考える良い機会となりました。



#### 《あいさつ運動と下校見守り活動》

本校では、定期試験期間中の登校時と下校時に、教員の登下校指導に加え、生徒会規律・安全委員による「あいさつ運動」を実施しています。また、あいさつ運動期間中に、浜田地区青少年を守る会の下校見守り活動も重ねて行い、本校のPTA生活環境部の保護者の方にも参加していただき、実施しています。

#### 《地域清掃（阿瀬知川）》

生徒会福祉委員会が中心となってボランティアを募り、「阿瀬知川を美しくする会」や浜田地区連合自治会の方々と共に、阿瀬知川周辺の清掃を行いました。

この取り組みは、10年以上継続しており、今年度は川周辺の雑草取りとゴミ拾いをゴミ拾いを行いました。



#### 《港地区調べ》

毎年、本校1年生は「港地区調べ」と称して、校区周辺にある企業や事業所を訪問し、施設見学に加え、業務ないよいう、事業所の役割や理念、活動の意義等のお話を聴かせていただいています。今年度は、6つのグループ（九鬼産業・日本トランスシティ・住友電装・四日市海上保安部・四日市港湾事務所・四日市税関支所）に分かれ、訪問先で学んだことを学校公開日に、グループ別でポスターセッション形式で発表しました。



#### 《花植え活動》

花植え活動は、10年以上も続く活動です。この活動は毎学期、学年別に行っており、プランターに植えられた花で、枯れた部分や弱っている部分を取り除き、土を加えて、新しい苗に植え替える作業をしています。植え替えが完了したら、学校敷地内に飾ると同時に、一部は校区の駅（JR 四日市駅・近鉄新正駅）に置いて、環境美化に努めています。



#### (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

コミュニティスクール（運営協議会）が発足して5年目となり、色々な場所、色々な機会に、たくさんの方に本校の教育活動に携わっていただきました。

上記の実践の他にも、中部地区人権教育推進委員会との共催で、人権講演会を開いたりしています。昨年度、参加させていただいた浜田地区の防災訓練については、日程の都合上、参加することができませんでしたが、地区防災で継続的に指導・助言をいただいている三重大大学の川口 淳先生にお越しいただき、全校生徒対象に防災に関する講演会を開催することができました。

以上のように、たくさんの団体や地域の方々と、継続的に関わりを持ち、現状に合わせて、内容ややり方を改善しながら、教育活動を行っています。教育活動はできるだけ学校公開をし、できるだけ多くの保護者や地域の方々に参観していただける工夫をしています。また、直接、参観できない方々のために、本校のホームページを日々、更新し、公開日だけでなく日常の教育活動の様子もお知らせするよう努力しています。

日々の地道な学校教育活動の積み重ねとそれに伴う学校ホームページの更新に加え、10年以上も続く、地域の方々との連携活動によって、本校学校教育に対する信頼が増すと同時に、期待が高まっているように感じています。

### 3 今後に向けて

本校には、次の2点の課題があります。一つ目は、地域行事に参加する生徒が増えないことです。中学校は部活動があり、休日でも部活動に関わる練習や試合が行われるため、地域で開催する祭りや防災訓練等の行事に参加できる生徒の数が限られるということです。

二つ目は、学校公開日に参加していただく保護者の方が限られていることです。地域の方や団体と連携をとりながら様々な教育活動を設けて、少しでも多くの方に直接、本校の教育活動や生徒の様子をご覧いただけるよう、学校を公開しても、参観される方が増えていないのが現状です。

一つ目の課題に対しては、学校全体で「地域行事や地域活動の意義」を確認・共有して、場合によっては地域活動を部活動練習より優先して、生徒の参加を保障するようにしています。二つ目の参観者の問題については、比較的参観していただきやすい土曜日に、公開できるよう行事を計画する工夫をしていきたいと思えます。

## 別紙B

## 平成28年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立港中学校

委員長 木村 高敏

校長 小林 伸宏

| 月  | 協議会の開催       | 活動内容   |
|----|--------------|--|
| 4  |              |  |
| 5  | 30日 第1回運営協議会 | 教育委員会より運営協議会委員の委嘱<br>平成28年度学校づくりビジョンの説明と承認<br>平成28年度年間行事計画と活動方針の検討<br>校内参観   |
| 6  |              |  |
| 7  | 4日 第2回運営協議会  | 自然教室、修学旅行等、1学期の学校行事報告<br>地域と協働して取り組んだ活動について報告<br>校内参観                        |
| 8  |              |  |
| 9  | 14日 第3回運営協議会 | 体育大会の参加<br>夏休み中の生徒の様子と2学期当初の学校の状況について報告<br>2学期開催予定行事の案内と参観依頼                 |
| 10 |              |  |
| 11 | 4日 第4回運営協議会  | 文化祭の参観<br>2学期の学校の様子と今後の教育活動予定報告<br>1年生の地区調べと2年生職場体験の取り組みの活動報告と今後の活動報告        |
| 12 |              |  |
| 1  |              |  |
| 2  | 2日 第5回運営協議会  | 今年度の学校行事及び教育活動の総括<br>学校自己評価の結果と考察の報告<br>来年度の取組予定と地域との連携・協力について<br>学校関係者評価の実施 |
| 3  |              |  |